

令和4年度実施施策に係る政策評価書

(環境省R4-43)

施策名	目標9-2 地域循環共生圏づくりの推進					
施策の概要	・専門人材と地域とのマッチング等の機能を持つプラットフォームの構築・充実等により地域循環共生圏の創造を強力に推進する。					
達成すべき目標	・地域の活力を最大限に発揮する「地域循環共生圏」の創造により、各地域が自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支え合う取組を推進し、持続可能な地域づくりを通じて、環境で地方を元気にしていくとともに、持続可能な社会を構築していく。					
施策の予算額・執行額等	区分		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の 状況 (百万 円)	当初予算 (a)	500	500	500	400
		補正予算 (b)	—	—	—	
		繰越し等 (c)	—	—	(※記入は任意)	
		合計 (a+b+c)	500	500	500	
執行額 (百万円)		446	467	484		
施策に関する内閣の重要政策（施政方針演説等のうち主なもの）	地球温暖化対策計画 第3章「目標達成のための対策・施策」第4節「地方公共団体が講ずべき措置等に関する基本的事項」					

測定指標	1. 地域循環共生圏づくり プラットフォーム事業実践 地域登録制度登録地域数	基準値	実績値					目標値	達成
		年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	○
		-	-	58	87	111	117	100	
	年度ごとの目標値	-	20	40	60	80			

評価結果	目標達成度合いの測定結果	(各行政機関共通区分) 目標超過達成 (判断根拠) 地域循環共生圏実践地域等登録制度にR4年度末時点で、117団体が登録された。毎年着実に登録数を増やしR5年度目標値とされていた100団体をすでに超過達成している。
	施策の分析	「環境で地域を元気にする地域循環共生圏プラットフォーム事業」を通じて地域循環共生圏創造のために必要な地域プラットフォーム形成のためのノウハウを蓄積できており、実際に優れた事例を創出できていることから、本事業は政策目標の達成において有効であると判断している。一方で、登録地域数の増加割合は伸び悩んでいることから、令和5年度以降は地域循環共生圏の概念をより多くの者に知ってもらい、実際に取り組んでもらうための広報活動にも注力する必要がある。
	次期目標等への反映の方向性	【施策】 令和5年度は、地域循環共生圏創造のための地域プラットフォーム形成ノウハウを更に洗練させるとともに、好事例たるモデル地域がいくつか形成できてきていることから、「施策の分析」結果に基づき、広報活動にも注力する。 【測定指標】 令和5年度末で「環境で地域を元気にする地域循環共生圏プラットフォーム事業」が終了し、同制度に紐付いて実施していた実践地域登録制度についても見直しが必要であることから、地域循環共生圏に取り組んでいる自治体数の把握については、「地方公共団体における温暖化対策の推進に関する法律施行状況調査」から確認することとする。

学識経験を有する者の知見の活用	有識者からなる審査会を設け、事業目的を達成する案件採択のための審査基準や案件採択に対する意見等を聴取することにより、事業の適正な執行に活用した。
-----------------	--------------------------------------------------------------------------

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	—
---------------------------	---

担当部局名	大臣官房 地域政策課	作成責任者名	細川真宏（地域政策課長）	政策評価実施時期	令和5年8月
-------	---------------	--------	--------------	----------	--------